

令和7年度岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会 次 第

日時：令和7年11月14日（金）

17:30～19:00

場所：ピュアリティまきび

1 開 会

2 議 事

（1）今年度までの取組について

ア 岡山アレルギー疾患講演会について

資料1～4

イ アレルギー疾患拠点病院関連事業について

資料1

資料5

ウ アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査について

資料6

（2）来年度の取組について

ア 岡山県アレルギー疾患事業について

資料7

（3）その他

3 閉 会

岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会委員名簿

R7.9.1現在

役 職	氏 名	備 考	出席者
南岡山医療センター 名誉院長	宗田 良	医療機関（拠点病院）	○
南岡山医療センター 名誉院長	谷本 安	医療機関（拠点病院）	○
岡山大学学術研究院 保健学域 検査技術科学（岡山大学病院 呼吸器・アレルギー内科）教授	宮原 信明	医療機関（拠点病院）	○
岡山大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科講師	牧原 靖一郎	医療機関（拠点病院）	○
岡山大学学術研究院 医歯薬学域 小児急性疾患学講座 准教授	津下 充	医療機関（拠点病院）	○
岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科皮膚科学分野 教授	森実 真	医療機関（拠点病院）	○
岡山県医師会 副会長	神崎 寛子	専門医療従事者	○
岡山県薬剤師会 副会長	成廣 和朗	専門医療従事者	○
岡山県栄養士会 会長	坂本 八千代	専門医療従事者	○
岡山県看護協会 会長	二宮 一枝	専門医療従事者	○
岡山県教育庁保健体育課 課長	片岡 敏行	教育関係者	○
岡山県愛育委員連合会 副会長	浅野 ツヤ子	県民	
岡山県栄養改善協議会 会長	中島 玲子	県民	
岡山県保健所長会	宮原 勅治	真庭保健所長	
岡山県保健医療部健康推進課 課長	北村 幸治	岡山県職員	○

[出席者]

南岡山医療センター 看護部/アレルギー疾患医療拠点病院対策室 小児アレルギーエドゥケーター アレルギー疾患療養指導士	黒岡 昌代	
岡山県教育庁保健体育課 指導主事（副参事）	井上 典子	

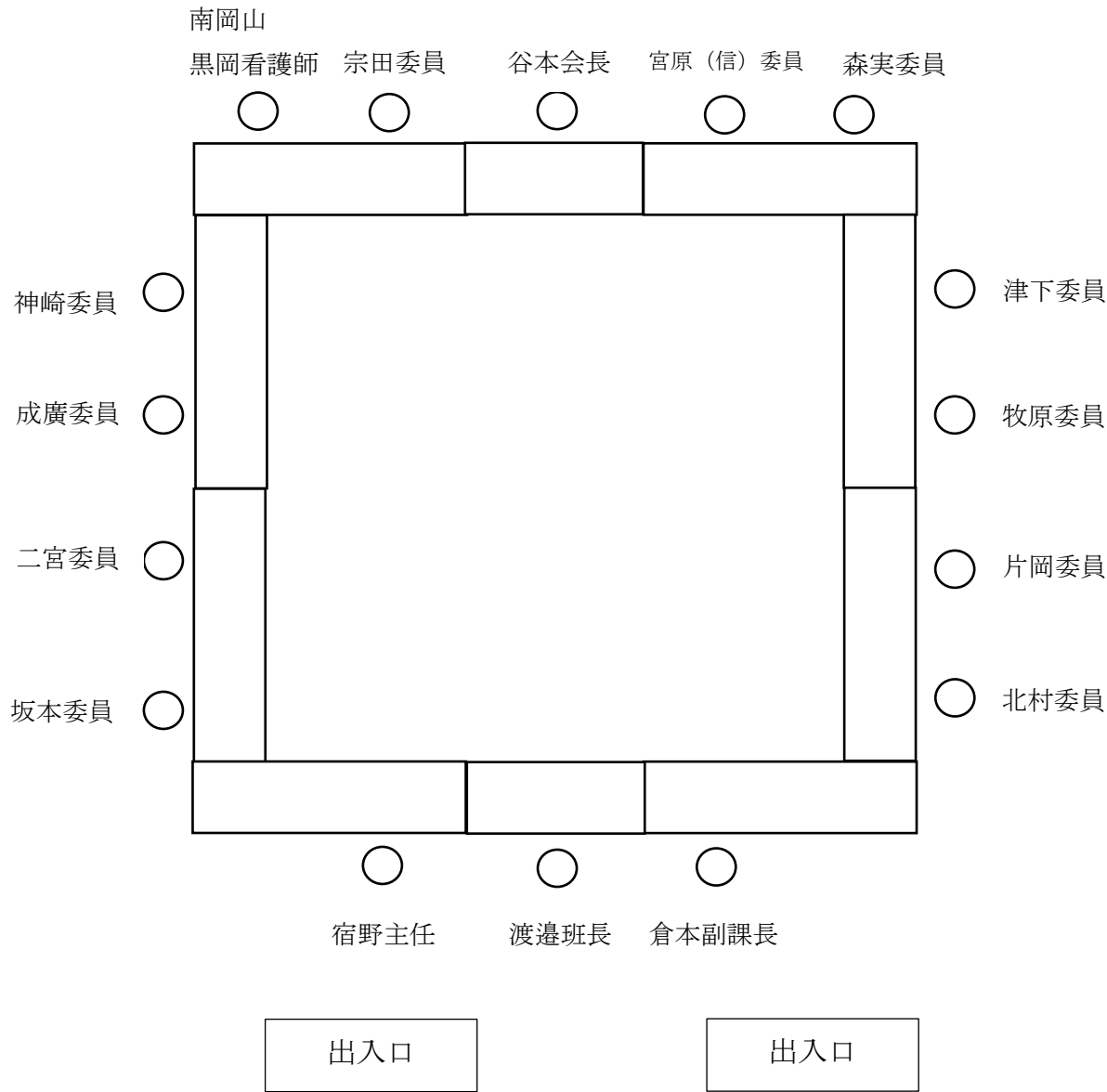
事務局 保健医療部健康推進課

副課長	倉本 貴博
総括参事	渡邊 展久
主任	宿野 沙紀子

令和7年度岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会 配席図

日時：令和7年11月14日(金)17:30～

場所：ピュアリティまきび



令和 7 年度岡山県アレルギー疾患医療連絡協議会での報告事項

1. 令和 6 年度岡山アレルギー疾患講演会の報告

資料 2、資料 3 参照

2. 令和 7 年度岡山アレルギー疾患講演会について

①チラシ（案） 資料 4 参照

②講演会およびオンデマンド配信についてタイムスケジュール

12 月中旬にチラシの発送

申込み締め切り：2026 年 1 月 30 日金曜日

講演会：2026 年 2 月 15 日日曜日

オンデマンド配信：2026 年 2 月 25 日水曜日から 3 月 13 日金曜日

配信終了 1 週間前にリマインドメールを送信予定

3. 令和 7 年度の拠点病院関連事業

・倉敷市医療給付課より依頼

「倉敷市ぜん息児のための水泳教室」における学習会での講義と実技指導

講師：小児科 産賀 温恵医師、小児アレルギーエデュケーター（以下 PAE）黒岡 昌代

対象：水泳教室へ参加する親子 10 組

令和 7 年 7 月 23 日水曜日に開催した

・岡山県立早島支援学校より依頼

「エピペン®研修」における講義とエピペン®の使用方法のデモンストレーション

講師：小児科 産賀 温恵医師、PAE 万代 舞、PAE 黒岡 昌代

対象：早島支援学校の教職員 67 名（講義について録画し後日受講もあり）

令和 7 年 7 月 31 日木曜日に開催した

・岡山県備前保健所より依頼

「食物アレルギー対応」について講義

講師：管理栄養士 植田 麻子、PAE 黒岡 昌代

対象：備前保健所管内のうち子どもへの提供を行っている給食施設の職員

令和 7 年 12 月 15 日月曜日に実施予定

・岡山県小児科医会/大塚製薬株式会社共催 資料 5 参照

「第 2 回岡山県小児アレルギー疾患連携セミナー ～災害とアレルギー～」

令和 7 年 9 月 6 日土曜日に開催した

令和 6 年度アレルギー疾患講演会について【報告】

1. 開催概要

(1) 開催日時・会場について

開催日時：令和 7 年 2 月 16 日 13 時から 16 時 30 分

会場：岡山国際交流センター 2 階 国際会議場

オンデマンド配信期間：令和 7 年 2 月 20 日から 3 月 12 日

(2) 参加申込、参加人数等について

講演会申込総数：330 名（内訳：医療従事者 132 名、教育保育関係者 115 名、その他 83 名）

講演会会場参加人数：97 名 実践型研修参加人数：15 名

オンデマンド配信視聴人数：117 名（視聴率 35%）

(3) 講演内容について

講演 1 「アトピー性皮膚炎の最新情報」

講師 川崎医科大学皮膚科教室 教授 青山 裕美先生

講演 2 「耳鼻咽喉科領域のアレルギー疾患

～知っておきたい鼻のアレルギー・副鼻腔炎の話～」

講師 岡山大学病院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科 助教 村井 綾先生

講演 3 「食物アレルギーとアナフィラキシーへの対応」

講師 岡山大学学術研究院医歯薬学域小児急性疾患学講座 准教授 津下 充先生

(4) 実践型研修について

エピペン®の使用方法に関するデモンストレーションと食物アレルギーにおける緊急時対応についてロールプレイとグループワークを行い、15 名の医療従事者、教育・保育関係の参加があった。

(5) 個別相談について

耳鼻咽喉科領域に関する相談が 1 件あった。

2. アンケート結果について（別紙参照）

講演会および実勢型研修ともに高評価であった。

岡山アレルギー疾患講演会

参加
無料

2025年

2月16日(日)

岡山国際交流センター 2階 国際会議場

開場 12:30 終了 16:15 講演……先着申込順120名

講演会 13:00 ~ 15:00

講演 1 アトピー性皮膚炎の最新情報

講師 川崎医科大学皮膚科学教室 教授 青山 裕美 先生

講演 2 耳鼻咽喉科領域のアレルギー疾患

～知っておきたい鼻アレルギー・副鼻腔炎のはなし～

講師 岡山大学病院 耳鼻咽喉・頭頸部外科 助教 村井 綾 先生

講演 3 食物アレルギーとアナフィラキシーへの対応

講師 岡山大学学術研究院医歯薬学域小児急性疾患学講座
准教授 津下 充 先生

講演会参加対象の方

- 医療従事者・教育保育関係者
- アレルギー疾患に関わる専門職種の方
- アレルギー疾患に関心のある方



実践型研修・個別相談 15:00 ~

会場での講演後、実践型研修と個別相談を行います

※実践型研修と個別相談の両方への参加はできません



実践型研修 ……先着申込順 36名

- エピペン®トレーナーの使用方法について
- ロールプレイ
- グループワーク(ロールプレイの感想や意見交換)

※ 講演会を聴講された方が参加できます。

※ 実践型研修は、医療従事者・教育保育関係者の方に限らせていただきます。

個別相談



- 内科・耳鼻咽喉科・皮膚科・小児科の医師が個別の相談に応じます。
- 講演会当日、受付までお申し込みください。(人数に限りがあります)
- 相談時間はおひとり10分以内をお願いします。



WEB 配信 会場での講演を動画配信します

2025年 2月20日(木) ~ 3月12日(水)

※WEB配信のみ希望の方も事前のお申し込みが必要です。
※会場での参加希望の方もWEB配信を視聴いただけます。

参加希望の方は事前のお申し込みが必要です。お申込み方法については裏面をご覧ください。

お問い合わせ先

(独) 国立病院機構南岡山医療センター
アレルギー疾患医療拠点病院対策室

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島 4066

電話：086-482-1121 FAX：086-482-3883

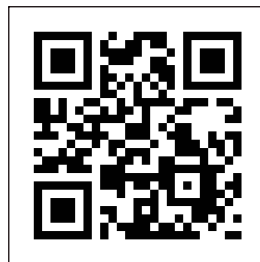
E-mail：505-minami-arerugi@mail.hosp.go.jp

主催：(独) 国立病院機構南岡山医療センター、岡山大学病院、岡山県
共催：(公財) 日本アレルギー協会中国支部後援：岡山県教育委員会、岡山市、倉敷市、早島町、(公社) 岡山県医師会、
(公社) 岡山県看護協会、(一社) 岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会、
(公社) 岡山県栄養士会、山陽新聞社、RSK 山陽放送

アレルギー疾患対策推進事業 岡山アレルギー疾患講演会 お申込み方法

参加ご希望の方は、下記の URL か二次元コードでアクセスし、
ホームページよりお申し込みください。

<https://okayama-allergy.jp/>



講演会の参加について

- お申込みを行うと、仮登録の受付メールが自動送信されます。
事務局でお申込みを確認後、登録手続きを行い申込完了のメールをお送りします。このメールの受信を持ってお申込みが完了となります。
- 会場での講演に参加をご希望の方は、2/16（日）に岡山国際交流センターにお越しください。
- 会場での講演は、お申込み先着 120 名となります。
※先着の人数を超えた場合のお申込みは、WEB 配信のみの受付とさせていただきます。
- 実践型研修は、会場での講演会に参加希望の方の内、先着 36 名様となります。ご希望の方は申込時に入力してください。
※実践型研修は、医療従事者・教育保育関係者の方に限らせていただきます。
- 個別相談をご希望の方は講演会当日、受付までお申し込みください。（人数に限りがあります）
- 実践型研修と個別相談の両方への参加はできません。
- WEB 配信視聴のみご希望の方も、参加のお申込みは必要です。
- 会場での参加を希望の方も WEB 配信を視聴いただけます。
- WEB 配信を視聴ご希望の方はお申込み時に任意のパスワードを設定してください。登録したメールアドレスと設定したパスワードで視聴期間中に動画視聴ページにログインできます。



会場開催

2025 年 2 月 16 日（日）
岡山国際交流センター 2F 国際会議場
〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町 2-2-1
TEL：086-256-2000

WEB 配信

2025 年 2 月 20 日（木）～ 3 月 12 日（水）

申込時送信必須内容

名前、住所、職業、参加について、参加方式（会場・WEB）、
実践型研修の参加、メールアドレス

上記必要内容を入力の上、申込登録を行ってください

申込締切日 2025 年 1 月 31 日（金）

申込後のメールが届かない場合は、下記までお問い合わせください

お問い合わせ先

岡山アレルギー疾患講演会サイト

Web 申込サポート

E-mail：support@okayama-allergy.jp

お申し込み方法等よくあるご質問については
こちらの Q&A ページをご参照ください

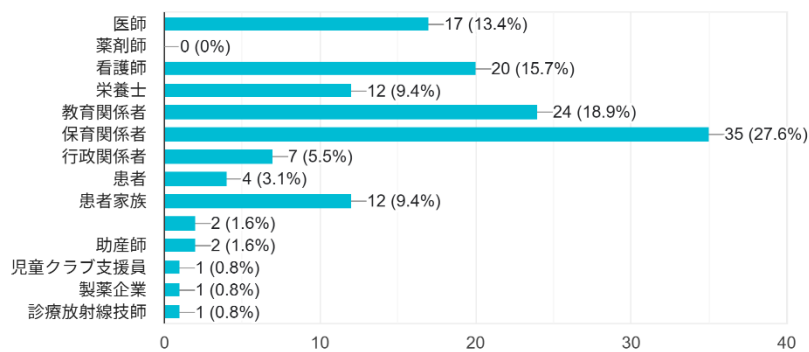
<https://okayama-allergy.jp/qa>



講演会アンケート結果 （回答数 127）

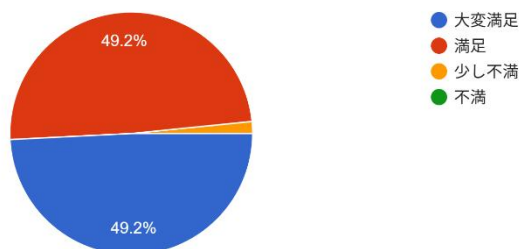
1.回答される方の属性を教えてください（複数回答可）

127 件の回答



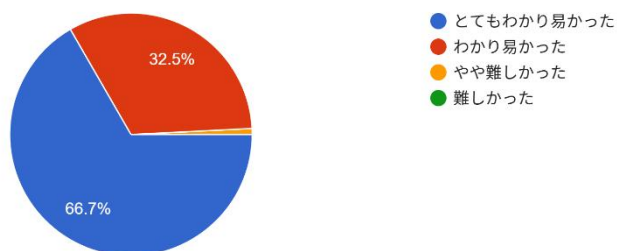
2.講演内容について感想を教えてください

126 件の回答



3.講演内容はわかり易かったですか

126 件の回答



4.今後の講演会について、どのような形式だったら参加したいか教えてください

127 件の回答



5.本講演会についてご意見やご希望を入力してください

県独自の企画ですが、横のつながりがあると良いですね。(医師)

講師の先生方、非医療者向けでも、素晴らしい内容でした。動画……母親エピペン投与はズボンの上、本人は肌に直、救急隊も肌に直、また、母は射ったあと揉んでました。これ、医療者以外だと、衣服の上からでも良いのかどうか？(特に冬場で厚手の重ね着などの時)、射った後、揉むかどうか？ など、気にされる方は、気にされそうな様に思いますが、いかがでしょう。(医師の対応の会話の中で「ボスミン」は、今、アドレナリン？ エピネフリン？)。(医師)

どのご講演もわかりやすかったです。特にアトピー性皮膚炎のご講演は、保護者の方にお伝えしたい内容でした。(教育関係者)

アトピー性皮膚炎の保湿と治療、アレルギー性鼻炎・副鼻腔炎の病気と様々な治療法、また食物アレルギーの際のエピペン投与方法や早期対応の重要性がとてもよく理解できました
(患者、患者家族)

大変勉強になりました。私の家族がアレルギー疾患(アトピーと喘息)を持っているため、為になる情報が多くありました。青山先生のご講演にあった皮膚バリアを強固にしていくためのスキンケア、外用塗布の指導や塗り方はこれから実践していきます。また、食物アレルギーとアナフィラキシーは私生活でも気をつけようと思います。アレルギーと上手く付き合っていく方法をたくさん学べる素敵な会をありがとうございました。(患者家族、製薬企業)

どの先生のお話もとてもわかりやすい言葉や例えを使っていたので、現場をイメージしながら聞けて良かったです！(保育関係者)

継続して下さい。

職員研修で津下先生の動画を利用させていただいてもよろしいでしょうか
(栄養士、教育関係者、患者、患者家族)

よくわかりました。今後にいかしたい(保育関係者)

鼻炎なのでとても参考になりました。(保育関係者)

昨年も同じ動画を視聴したが、今年もまた同じ動画を見ることで頭の中にしっかり入ることができよかった。迷わずエピペンを早い段階で打つことの大切さがよくわかった。
(栄養士)

医療は日進月歩しているので、最新のスタンダードな治療について知る機会となり、とても参考になりました。ありがとうございました。（教育関係者）

患者の家族として講演を拝聴いたしました。新しい薬や治療の紹介など、とても参考になりました。患者本人や家族が疾患に関する知識を深めることは、毎日の生活を送る上でとても大切なことと再確認いたしました。毎日のスキンケアや花粉飛散時期前からの薬の服用など、地味な事柄ではありますがコツコツと続けていこうという気持ちを強くしました。

（患者家族）

受講しながら自分の手を見て、カサカサであることに気付き、直ぐ保湿剤を塗りました。少しヒリヒリしたため、日ごろのケアの大切さを実感しました。エピペンの使い方、エピペン投与の動画の視聴はこれまで何回か行ってきましたが、これからも、対応に供えて、行っていく必要があると思います。（栄養士）

特にありません。（医師）

特にありません。（医師）

生々しいDVD、ありがとうございます。参考になります。（医師）

それぞれにわかりやすい内容だったが、アレルギーに関しては他の研修もよく聴講するので、比較すると少し物足りない気がした。（教育関係者）

それぞれの講演の内容が全てわかりやすいのでオンデマンド配信での研修も十分できました。特にアナフィラキシーショックを起こした時の動画は、視覚的に分かりやすく誤食があった時、それぞれの立場が救急隊が到着するまで、どのような行動をしなければいけないかわかりやすかったです。パワーポイントの内容が、紙面資料として印刷できるようになっていると事後に研修を深めることができると思いました。（教育関係者）

分かりやすい資料や動画だった為、具体的なイメージがしやすくて良かったです。

（保育関係者）

エピペンについては軽い知識を持っていたが、使用後も必ず救急搬送が必要なことや一時的に改善されたのに悪化する可能性があることを初めて知った。エピペンの実際の使用についても知る機会がなかったため聞いてよかった。（行政関係者）

アレルギー疾患について、最新のガイドラインや情報を学ぶことができ勉強になりました。校内研修の実施に活用したいと思います。（教育関係者）

今回、アトピー性皮膚炎や耳鼻科等の話を聞くことが出来てとても勉強になって良かったです。現在、保育園にも卵と小麦アレルギーの園児がいて全除去になっています。薬は抗ヒスタミン薬を持参していますが、薬の話も先生から聞けてこれからは十分に気を付けて保育を行なって行かないといけないと感じました（保育関係者）

分かりやすい内容だったため、今回視聴できない職員にも共有しやすいと感じた。アトピーとは診断されていないが、アトピーのような肌質をしている園児も数名いるため、上手に保護者に情報共有し病院受診を促していけるようにしたいと思った。（保育関係者）

エピペンを見たことも使用したこともないので、今回動画を見て、改めてアナフィラキシーが起きた時の怖さを感じ、エピペンの使い方を知ることができてよかったと思いました。（保育関係者）

ありがとうございました。アナフィラキシーに対する理解が深まりました。
対処法も確認できました。（保育関係者）

アトピー性皮膚炎の講演が大変勉強になりました。スキンケアを保湿剤、軟膏などの違いの写真はとてもわかりやすかったです。（教育関係者）

一般の方が理解できるように、わかりやすく説明されており、大変参考になりました
（医師）

理解しやすい内容でした。症状の段階と治療方法の段階について具体的にお伺いしたいと思いました。
（教育関係者）

配信してくださり、ありがたかったです。講演についても資料があれば、再度見直して、学校での研修の参考にさせていただきやすいなと思いました。ありがとうございました。"
（教育関係者）

皮膚・耳鼻咽喉・食物、それぞれの専門の先生からわかりやすく教えていただき、大変参考になりました。
ありがとうございました。（教育関係者）

エピペンのショートムービーはリアリティもあり、専門職でなくても分かりやすいと感じました。（栄養士）

アナフィラキシーショックの動画が分かり易かった。（行政関係者）

大変勉強になりました。ありがとうございました。（栄養士）

昨年に引き続き今回もオンラインで受けさせていただきました。アナフィラキシーへの対応動画の最後に今回は、youtube へのサイトや QR コードが掲載されており、受講できてないスタッフや家族にもみてもらえるようになったことが良かったと思います。ありがとうございました。（看護師、患者家族）

エピペンについての知識と対応について詳しくてよかった（児童クラブ支援員）

動画を交えての研修で分かりやすかった。（栄養士）

アトピー性皮膚炎を発症させる要因や治療についてコンパクトにまとめられていて分かりやすかった。（教育関係者）

副鼻腔炎の起こりかたや治療法など、具体的でわかりやすかった。（教育関係者）

アレルギーについて色々な角度から知ることができた。そして食物アレルギーのアナフィラキシーショックが起きた時には迅速にエピペンを打つことが命をつなぐことが大変重要なことだと改めて認識しました。（栄養士、保育関係者）

講演会に行けなくてもみれるので、とても助かります。

とても分かりやすく、腑に落ちる丁寧な解説だったため、食物アレルギーによるアナフィラキシーショックについて理解を深めることができた。動画は、救急車や病院での処置まで入っており、初めて知った内容だった。（教育関係者）

子育て中であり、現地に赴いて研修を受ける融通がききにくいので、今回のような形式の講演会はいたいへんありがたかったです。（行政関係者）

6. 今後のアレルギー疾患に関する研修についてご意見やご希望を入力してください

市民向けの研修を企画するのでしょうか。（医師）

継続して実施されている良い試みかと思います。コロナ禍を経て、オンデマンド視聴が定着したと存じます。学校、保育等の方々には、オンデマンド視聴の講演会（個人では、よほど意識高い系の方でないと、講演会といった「場」がセットされないと、つつい、ながらで聞いてしまいますので）とかも、そういう方々の集まれる研修会などで、出張オンデマンド講演会なさってもよいのかも？（医師）

アレルギーを持つ保護者の方がもっと参加できる会にしたらいのではないかと思います。ありがとうございました。（教育関係者）

医療従事者でなくとも理解し易い内容でしたのでまた機会があれば参加したいと思いました（患者、患者家族）

教育入院という言葉、初めて聞きました！具体的にどんなことをしているのかもっと知りたいです。現場でしている、食べ物の誤配を防ぐための方法があれば聞きたいです。

（保育関係者）

各疾患の治療方法について詳しく教えてください。

岡山市職員研修でされてもいい内容だと思います（栄養士、教育関係者、患者、患者家族）

前もって資料が欲しかった（保育関係者）

改善する食生活を知りたいです。（保育関係者）

新しい薬や治療について説明を受けることは、自身の疾患についての知識を深めるだけでなく積極的に関わりを持つことにつながると思います。今後も今回のような講演会の機会がありましたら参加したいと思います。積極的な情報発信をお願いしたいと思います。

（患者家族）

新しい薬の使い分け。（医師）

副鼻腔炎や鼻アレルギーの話は今後も視聴したいです。（医師）

アトピー性皮膚炎は今後も見たいです。（医師）

職員研修の持ち方などのアイデアをいただきたい。（教育関係者）

定期的に、アレルギーに対する研修やエピペンの使い方を復習できるようになったら良いなと思いました。（保育関係者）

今後も、研修の中で最新の情報を教えていただけるとそれを基に対応をしたり、校内で情報共有することができるよう今回のような研修が定期的に開催していただきたいです。

（教育関係者）

最近は、喘息の園児が多いため、園での対応やハウスダストやその他のアレルギーからの発作への対応等を教えてほしいと思います（保育関係者）

食物アレルギーの子が増えているので、今後も誤食した場合の症状、対応などをわかりやすく教えて頂ける研修を希望します。（保育関係者）

年に1回はこの講習を続けてほしい。（保育関係者）

喘息発作時に学校でできる対応や日常の管理について教えていただきたいです。
（教育関係者）

引き続き疾患啓発や治療方針に関する講演研修を希望します。（医師）

治療方法や投薬について、具体的にもう少し詳細にお聞きできる研修を希望いたします。
（教育関係者）

最新のアレルギー治療について教えていただき、ありがとうございました。アレルギーについて毎年学習する機会があるのはとてもありがたいです。（教育関係者）

定期的な研修の開催を希望。（栄養士）

花粉症についてもっと聞きたい。（行政関係者）

特にありません。（栄養士）

アレルギー表示内容など変わってきているのでどのような食物にアレルギーがあるか食品の表示の見方も含め分かるといいと思います。

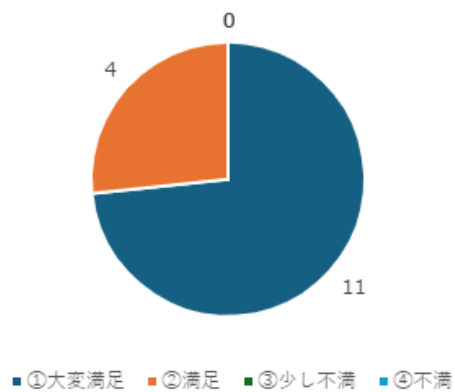
多くの保育、教育関係者、保護者への啓蒙となるように今後も研修の開催継続をよろしくお願いいたします
ありがとうございます。（看護師、患者家族）

食物アレルギーの遺伝や妊娠中の対策について詳しく知りたい。（栄養士）

実践型研修参加者アンケート結果

参加者 15 名/回収 15 (100%)

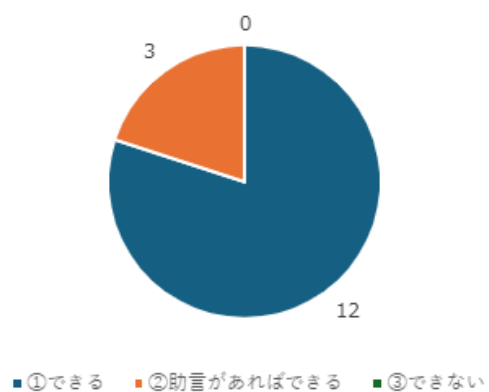
1. 本日の実践型研修のロールプレイについて感想を教えてください

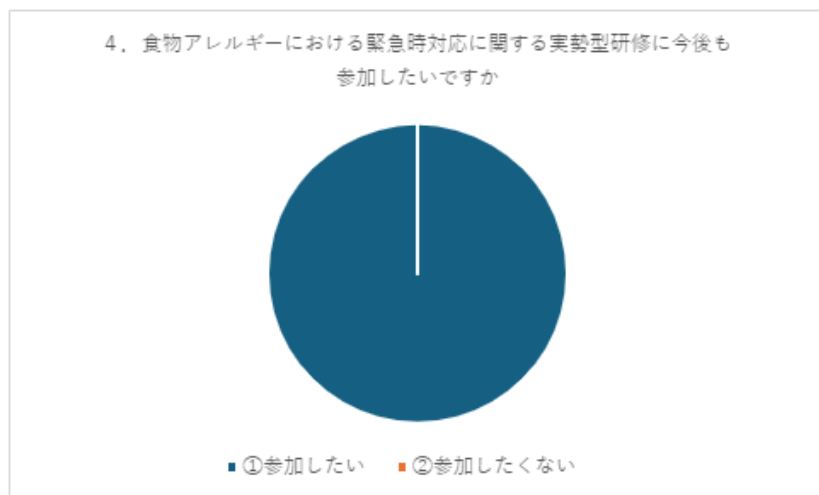


2. 本日の実践型研修のグループワークについて感想を教えてください



3. 本日の研修を受けてエビペン®️適切に使用できますか





5. 実践型研修についてご意見やご希望があれば記入してください

- ・ 分かりやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 専門的なお立場の先生方からのご助言が大変役立ちました。
学校でのアレルギー対応研修でも伝え、緊急時対応に備えられるようにしたいと思います。ありがとうございました。
- ・ ロールプレイで参加できてチームですることの大切さを確認できました。
いろいろ質問できて不思議が解消しました。学校での研修に活かしていきたいです。
- ・ 実際に使ってみないとわからない事が色々あった。常に新しい情報を学ぶことは大事と思った。
- ・ こういう研修に参加できることがあまりないのでよかったです。
- ・ 意見交換もでき、とても勉強になりました。
- ・ エピペン使用について不安がありましたが、実践型研修で少し自信ができました。
周りの同僚にもぜひ広めたいと思います。
- ・ とてもわかりやすかったです。ありがとうございました。
- ・ 立場の違う参加者の人たちとロールプレイができて新鮮だったし、いろいろな視点を教えてもらい学びになりました。ありがとうございました。
- ・ いろいろな状況があり、頭で理解しても実際に動くのはむずかしいと思いました。
その時の対応ができるようロールプレイをして練習を日頃からしておいたほうがいいと思いました。
- ・ ロールプレイでは何が必要かよく分かった。もっと振り返りがしたかった。
疑問について解決できた。



岡山アレルギー疾患講演会

参加無料

2026年 2月15日(日) 講演 先着申込順 120名
岡山国際交流センター 2階 国際会議場
開場 12:30 / 終了 16:15

講演会 13:00 ~ 15:00

講演
1

「眼科領域におけるアレルギー疾患」

講師 岡山大学病院 眼科 助教 松前 洋 先生

講演
2

「アレルギー疾患のための災害への備えと対応」

講師 岡山県保健医療部健康推進課 主任 宿野 沙紀子 様

講演
3

「アレルギー疾患における災害対応」 「食物アレルギーにおけるアナフィラキシーへの対応」

講師 岡山大学学術研究院 医歯薬学域小児急性疾患学講座 准教授 津下 充 先生

講演会参加
対象の方

●医療従事者の方 ●教育・保育関係者等アレルギー疾患に関わる専門職種の方 ●アレルギー疾患に関心のある方

実践型研修 15:00 ~

先着申込順 30名

会場での講演後、実践型研修を行います

- エビペン®トレーナーの使用方法について
- ロールプレイ
- グループワーク(ロールプレイの感想や意見交換)

※講演会を聴講された方が参加できます。
※実践型研修は、医療従事者・教育保育関係者の方に
限らせていただきます。



WEB 配信

会場での講演を動画配信します

2026 2月25日(水) ~ 3月13日(金)

※WEB配信のみ希望の方も事前のお申し込みが必要です。
※会場での参加希望の方もWEB配信を視聴いただけます。

参加希望の方は事前のお申し込みが必要です。お申し込み方法については裏面をご覧ください。

お問い合わせ先

(独) 国立病院機構南岡山医療センター
アレルギー疾患医療拠点病院対策室

〒701-0304 岡山県都窪郡早島町早島 4066

電話：086-482-1121 FAX：086-482-3883

E-mail：505-minami-arerugi@mail.hosp.go.jp

主催：(独) 国立病院機構南岡山医療センター、岡山大学病院、岡山県
共催：(公財) 日本アレルギー協会中国支部

後援：岡山県教育委員会、岡山市、倉敷市、早島町、(公社) 岡山県医師会、
(公社) 岡山県看護協会、(一社) 岡山県薬剤師会、岡山県病院薬剤師会、
(公社) 岡山県栄養士会、山陽新聞社、RSK山陽放送

アレルギー疾患対策推進事業 岡山アレルギー疾患講演会 お申込み方法

参加ご希望の方は、下記の URL か二次元コードでアクセスし、
ホームページよりお申し込みください。

<https://okayama-allergy.jp/>



講演会の参加について

- お申込みを行うと、仮登録の受付メールが自動送信されます。
事務局でお申込みを確認後、登録手続きを行い申込完了のメールをお送りします。このメールの受信を持ってお申込みが完了となります。
- 会場での講演に参加をご希望の方は、2/15（日）に岡山国際交流センターにお越しください。
- 会場での講演は、お申込み先着 120 名となります。
※先着の人数を超えた場合のお申込みは、WEB 配信のみの受付とさせていただきます。
- 実践型研修は、会場での講演会に参加希望の方の内、先着 30 名様となります。ご希望の方は申込時に入力してください。
※実践型研修は、医療従事者・教育保育関係者の方に限らせていただきます。
- WEB 配信視聴のみご希望の方も、参加のお申込みは必要です。
- 会場での参加を希望の方も WEB 配信を視聴いただけます。
- WEB 配信を視聴ご希望の方はお申込み時に任意のパスワードを設定してください。登録したメールアドレスと設定したパスワードで視聴期間中に動画視聴ページにログインできます。



会場開催

2026 年 2 月 15 日（日）
岡山国際交流センター 2F 国際会議場
〒700-0026 岡山県岡山市北区奉還町 2-2-1
TEL：086-256-2000

WEB 配信

2026 年 2 月 25 日（水）～ 3 月 13 日（金）

申込時送信必須内容

名前、住所、職業、参加について、参加方式（会場・WEB）、
実践型研修の参加、メールアドレス

上記必要内容を入力の上、申込登録を行ってください

申込締切日 2026 年 1 月 30 日（金）

申込後のメールが届かない場合は、下記までお問い合わせください

お問い合わせ先

岡山アレルギー疾患講演会サイト

Web 申込サポート

E-mail：support@okayama-allergy.jp

お申し込み方法等よくあるご質問については
こちらの Q&A ページをご参照ください

<https://okayama-allergy.jp/qa>



第2回岡山県小児アレルギー疾患連携セミナー

～災害とアレルギー～

資料 5

事前申し込みフォーム

期限：9月5日（金）終日中

■日時：2025年 9月6日(土) 15:00～16:30

■配信会場：TKPガーデンシティ岡山 **4F バンケットA**（クレドビル・岡山中央郵便局横）

住所：岡山市北区中山下1丁目8-4 5 NTTクレド岡山ビル4階

■開催形式：ハイブリッド開催（**現地聴講可能**（地下駐車場有）/Zoom Webinar）

■参加登録方法：[PC・スマホからはこちらをクリック](#)（QRコードからも登録可能）



総合司会/オープニング 岡山大学 小児急性疾患学講座 准教授 津下 充 先生

災害が増えつつある今、小児アレルギー疾患への災害時対応を考える

Session1：講演パート（15:10～16:10）

演題①『岡山県の災害アレルギー対策の現状について』

演者：岡山県 保健医療部 健康推進課 健康づくり班 主任 宿野 沙紀子 様

演者：岡山県 危機管理課 広域防災班 総括参事 難波 通高 様

演題②『管理栄養士の立場から見た食物アレルギーと防災の実態』

演者：岡山県栄養士会 会長 坂本 八千代 先生

演題③『岡山県の災害薬事におけるアレルギー対応の現状と課題』

演者：岡山県薬剤師会 災害対策特別委員会委員長 岡山大学病院 薬剤部 大川 恭昌 先生

演題④『災害時のアレルギー対応 -小児アレルギーエデュケーターの立場から-』

演者：南岡山医療センター アレルギー疾患医療拠点病院対策室 黒岡 昌代 先生

演題⑤『災害時の食物アレルギー対応 -熊本地震の経験と小児救急医の視点から-』

演者：岡山大学学術研究院医歯薬学域 地域救急・災害医療学講座 講師 小原 隆史 先生

Session2：ディスカッションパート（16:10～16:30）

※ディスカッションは案内状に記載されている役割者のみで実施いたします

テーマ： 岡山県の現状から対策を考える

閉会の辞 岡山県小児科医会 副会長 高杉 尚志 先生（高杉こどもクリニック 院長・理事長）

共催：岡山県小児科医会 / 大塚製薬株式会社

後援：厚生労働省 / 岡山県 / 岡山県薬剤師会 / （公社）岡山県栄養士会

問い合わせ先：大塚製薬（株）岡山出張所 鹿山 聖史 ☎080-6795-7788 ✉ Shikayama.Masafumi@otsuka.jp

※ご参加いただいた趣意のため、ご方名の記帳、WEB入室時に施設名、氏名のご入力をお願い申し上げます。ご登録頂きましたeメールアドレスその他の個人情報には以下の目的に使用いたします。

1. 弊社会員制クラウドログイン時の会員登録及び画面表示設定。2. 弊社からのeメールマガジンおよび、MRからのe-mailによる連絡。なお、ウェブサイトの改善やMRからの情報提供の参考としてアクセスログ情報を活用させていただくことがあります。

また事前の承諾なく、大塚製薬株式会社の業務委託先等に提供することはありません。個人情報、貴社の個人情報保護方針に基づき安全かつ適切に管理致します。

この講演会への参加には事前登録が必要です。参加時には氏名・講演会への参加用URLは転送をご連絡願います。ログインの際には、ご施設名、お名前のご入力をお願い致します。・講演会の録画/録音はご遠慮願います。

アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査について

1 県ホームページでの公表

「アレルギー疾患専門医療機関リスト化調査」の結果について、表形式（エクセルファイル及びPDFファイル）で県ホームページに掲載している。

また、「アレルギー疾患専門医療機関リスト」の新規登録・修正・削除申請フォームをホームページに常設し、リストの修正依頼等に対し適宜対応する。

2 おかやま全県統合型GISでの公表

令和7年3月に、おかやま全県統合型GISにて「アレルギー疾患専門医療機関マップ」を公表した。

地図上のアイコンを選択すると、医療機関の情報を確認することができる。

なお、ホームページに掲載している内容よりも、簡易な情報を掲載している。

【掲載内容】

- ・医療機関名 ・住所 ・電話番号 ・診療科 ・診療内容
- ・受診予約の要不要 ・紹介状の要不要

【GISのイメージ】



3 医療機関への周知

岡山県医師会報（令和 7 年 10 月 25 日発行）にて、「アレルギー疾患専門医療機関リスト更新のお願い」を掲載し、医療機関に対し周知を図った。

【掲載内容】

岡山県からのお知らせ

アレルギー疾患を診療されている医療機関様へ

**アレルギー疾患専門医療機関リスト
更新のお願い**

県ホームページで公開中「アレルギー疾患専門医療機関リスト」の
内容更新にご協力をお願いします。

- ・前回(令和5年度)から診療内容等に変更がない場合は、
回答不要です。
- ・回答は10分程度で終わります。

▼回答フォーム(岡山県電子申請サービス)



[https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/
offerList_detail?tempSeq=49981](https://apply.e-tumo.jp/pref-okayama-u/offer/offerList_detail?tempSeq=49981)

▼医療機関リスト(県ホームページ)



[https://www.pref.okayama.jp/page/
detail-24397.html#list](https://www.pref.okayama.jp/page/detail-24397.html#list)

【問い合わせ先】
岡山県保健医療部健康推進課健康づくり班(担当:渡邊、宿野)
TEL:086-226-7328 Mail: kensui@pref.okayama.lg.jp

来年度の岡山県アレルギー研修会事業について

1 現状

岡山県アレルギー研修会事業については、岡山県アレルギー疾患拠点病院である南岡山医療センターに委託して実施してきたが、医師の退職等により、来年度以降事業受託が難しい状況となる。

また、拠点病院である岡山大学病院においても、医師の働き方改革等により受託は難しい状況である。

2 令和8年度の事業実施（案）

令和6年度から実施している「岡山県小児アレルギー疾患連携セミナー」（大塚製薬株式会社、岡山県小児科医会共催）を、岡山県アレルギー疾患対策事業として位置づけ実施することとしたい。

※大塚製薬は、薬機法第67条（一般人への医薬品の広告禁止）により、一般県民向けのセミナー実施は難しいが、医療従事者向けや保育関係者等、対象を限定するのであれば実施が可能とのこと